



恩田だより

令和6年5月
横浜市立恩田小学校
TEL (961) 7651
FAX (961) 6014



いいこといっぱい 恩田小！！

副校長 津守 逸実

この度、緑区緑小学校より異動してきました「津守逸実」と申します。どうぞよろしくお願い致します。

2・4年生の学年懇談会の時に話した内容についてお伝えしたいと思います。

私が学級担任をしていた時、学級開きの際に言っていたことは「人はどうしても相手のダメなところに目が向いてしまいます。なるべく、人のいいところを見つけるようにしていきましょう。そうすることで、よりよい人間関係を築いていけるから。」です。そこで、私は、恩田小学校に着任してからまだ2週間経っていませんがいいところをいくつか見つけることができました。

環境面で、一つ目は門をくぐると真っ先に目の前にきれいな花が咲きほこった花壇が飛び込んできました。しっかりと手入れしてくれている人がいるのだろうなあと思いました。二つ目はビオトープがあることです。今まで在勤してきた学校にはなかったのも、どのような教育活動がされているのか興味をもちました。三つ目は、校舎の造りが工夫されているなあと思いました。曲線を使った造りで、特に4階から3階のスロープから見る天井は美しい曲線を描いています。

子どもたちに目を向けると、毎朝、門で子どもたちを迎え入れていると元気よく「おはようございます」と大きな声であいさつをしてくれる子どもが多いです。また、普段の学校生活では、委員会担当の児童が職員室に鍵を取り来る時にしっかりと大きな声で言葉を述べる事ができています。廊下で会うと「こんにちは。」と言葉が返ってきます。放課後、校内巡回をしているとキッズクラブの子どもたちが「副校長先生だ。さようなら。」と言ってくれます。

教職員に目を向けると、和気あいあいと話し合っていて職員室内は和やかな雰囲気です。また、私が異動してきたということもあり、立ち止まっていると「何かお探しですか」と声をかけてくれる人が多く、とても気遣いができる人の集まりなのだ実感しました。

異動にあたり、様々な人に声をかけられているので私が思っている「言葉」について書きたいと思います。

高村圭吾さんの詩で

その一言 その一言で励まされ その一言で夢を持ち その一言で腹が立ち その一言でがっかりし
その一言で 泣かされる ほんのわずかな一言が 不思議に大きな力を持つ ほんのちよっとの一言で

たった一つの言葉によって人はうれしくなったり、悲しくなったりします。自分の心に感じた、明るいきれいな感情を素直に表すことで学級や学校全体が楽しい雰囲気になるといいなと思っています。自分の口から出る言葉が大きな力をもっていることを忘れずに、言葉を大切に子どもたちに育ててほしいと願っています。

今月もたくさんの行事が続きますが一つひとつをさらに充実させながら丁寧に進めてまいります。皆様には様々な場面でご支援をいただくこととなりますが、引き続きよろしくお願い致します。

最後に、今までも「学校だより」の巻頭言を書くことでたくさんの方に読んでいただけることを光栄に思うと同時に、昔の恩師や同級生、教え子まで「読みました」と連絡してきてくれます。これからもこの学校だよりを通していろいろな人とつながれることを楽しみにしています。